

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TODAY'S TAKASAKI		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日 ～ 2026年2月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年2月2日 ～ 2026年2月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	季節に合わせたプログラムを考えており、近年では、フルーツ狩りを行っています。2月にいちご狩りに行き、初めて参加した児童が多く、一日活動では、色々な体験ができるようなものを職員間で意見を出し合っています。	保護者からの意見や子どもたちの行ってみたい場所を聞き、利用者の意見も取り入れた活動を計画します。
2	事業所の支援に満足していますか。	送迎時や連絡ノートにて一日の様子を共有できるよう細かくお伝えするようにしています。 保護者からも送迎時に細かくできごとを教えて頂き、満足していますと意見を頂いています。	今後も一日の活動の様子を細かくお伝えできるようにします。 現在もお便りにて、活動中の写真を載せており、保護者や子どもたちも楽しみにしていますという意見を頂いているので、継続していきます。
3	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	送迎時の申し送りや配布物、職員間でダブルチェックを行い、情報の漏れがないように行っています。 TODAY'S KIDSを併用している児童もいるため、事業所間でも共有を行っています。	今後も、情報漏れがないように申し送りや配布物等を通して、行っていきます。 TODAY'Sの携帯に急な連絡もあるため、連絡を随時確認します。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	利用児が小学1年生～高校3年生まで利用しており、体の大きい児童は、狭く感じてしまいます。	活動部屋やスペースを分けて活動する必要があります。 職員の人数に余裕がある日は、2階も活用していくことも検討します。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	児童館等の施設を利用していないため、交流ができていない。	群馬クレールサンダーを応援しながら、地域の他の子どもと交流・地域貢献を目指していく計画を今後も検討中です。
3	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	保護者からのニーズがあれば、相談員や関係機関に繋げられるように情報収集を行っているが、あまりできていない。	保護者のみの交流の場や情報交換する場がほしいとの意見を頂いたため、交流できるような計画を検討します。